

令和3年度 事業報告書

特定非営利活動法人 埼玉農業おうえんしたい

1 事業実施の方針

NPO立ち上げ五年目にあつた2021年度には、これまで実施した各事業を着実に発展させるとともに、新商品開発事業においては、新たな成果を得ることを目的にした。

昨年度開発をしたシングルオリジンティーのティーバッグが幸い好評であり、米国向けに1000個を超える注文があつた。今後も新たな利用を提案しながら、その販売量を増やしていきたい。

また同リーフ商品に関しても、海外で好意的に受け止めてもらってはいるが、COVID-19に続いてウクライナ戦争が勃発し、EU向け航空貨物がほぼ一年間、ストップをしてしまった。そのために欧州輸出に関しては9月に自分で持ち出して届けたり、知人を介して転送をしてもらったりと、極めて難しい年になった。一日も速い正常化を願うばかりである。

観光イベントに関しては、11月にインバウンド向けの闘茶イベントを開始できないか検討を始めてみたものの、いまだ時期尚早と判断した。

新商品開発事業では、シングルオリジンティーを使った紅茶の製造を試みた。中には全国コンクールで上位に入賞するほど優秀な紅茶も作られ、今後への期待が膨らんだ年であった。またその途上で、燻製紅茶の存在を知り、また、フランス市場調査でも薫製茶に対する期待が大きいことを知り、急遽、燻製茶づくりの試行を始めた。これについても商品レベルにあると判断された者もあり、来年度より販売を始める予定である。なお、この新商品開発に関しては、令和2年2月に設立された「狭山Single Origin Tea普及促進議会」で行うこととし、その主な費用は別途、農水省「令和3年度 持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業」補助金(5,528,190円)をあてた。

文化的景観整備事業・農業遺産保全活用事業については、将来のティーツアーでの利活用も視野に入れながら、その準備検討作業を始める。

2 事業の実施に関する事項(2021年 4月 1日 ~ 2022年 3月 31日)

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
観光イベント事業	闘茶イベント	4/1-3/31	埼玉県	2人	首都圏 世界	2人 100
農産品輸出促進事業	狭山茶海外市場開拓事業	9/1~11/30	イタリア ア・フランス	1人	EU	1000人 667
新規商品開発事業	狭山茶の新商品開発	6/1-3/31	埼玉県	3人	埼玉県	10人 132

文化的景観整備事業・農業遺産保全活用事業	入間市に点在する景観資源を結びあいながら、地域全体として茶観光がどのようにしたら成立するかを検討する。	4/1- 3/31	入間市	1人	埼玉県	0人	0
商品製作販売事業	狭山茶商品の制作販売	4/1- 3/31	埼玉県・東京都	7人	埼玉県	1000人	593

1492千円

(2) 特定非営利活動以外に係る事業
なし